

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

識別番号・報告回数	B-03010286	第3報	関連報告番号	2004年02月23日	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
最新情報入手日	2007年07月26日	身長 cm	第一報入手日	2004年02月23日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に随うもの 先天異常を来すもの ◎ その他の医学的に重要な状態	報告された死因 (死亡の場合)		
副作用	30日	体重 kg	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴 インフルエンザ 心筋虚血 便秘				
発現国 (情報源)	日本 (日本)							
患者略名	K.M.							
性別	女性							
年齢	78歳		曝露時の妊娠期間					新医薬品等の区分 該当なし

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量		投与期間		医薬品使用理由
					投与量/回	回数	開始日	終了日	
シメトレル	塩酸アママンタジン	S	経口	TAB	100mg/1回	1日	04/02/10	04/02/12 (3日)	インフルエンザ
アストミン	リン酸ジメモルファン	0	経口	TAB	30F/1回	1日			
ダン・リッチ	フェニルプロパノールアミン配合剤	0	経口	XXX	1DF/1回	1日			

副作用/有害事象

重要性	重・非	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)		持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
		副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	見当識障害 大脳萎縮						
					04/02/12				不 不

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

2004/02/10
インフルエンザでシメトレル100mg/日を開始。
(併用薬の開始日は不明)
2004/02/12
3日間服用してから、意味不明の言葉を言ったり、娘の顔がわからなくなったりといった見当識障害が発現。投薬を中止。
2004/02/23
1週間たっても症状が続いている。1回、来院したが、その後の通院なく、転帰不明。
(追加情報)
患者には37°C台の発熱があったが、解熱後も症状は持続。
患者には、興奮状態になる、暴れる、大声で叫ぶ、幻覚といった症状が認められたが、事象発現時の記憶はなかった。
患者には異常行動、睡眠時驚愕症等の既往歴、家族歴はなかった。また、光に対する反応の有無は不明であった。
家族の話では、1月頃から軽い近時記憶障害が既に出現しており、本剤服用後、興奮、幻覚が急に出現。状態が落ち着くまで約1ヵ月近くかかり、また、認知症が顕在化した印象を受けたとのこと。
3月末のMRIでは、脳に軽度の萎縮がみられた。